※令和４年度以降入学生用

学校番号	325

令和５年度　家庭科

教科	家庭	科目	保育基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	保育基礎（実況出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・子どもの発達や生活の特徴について学んだり、児童文化財の製作をして保育に必要な知識・技術を身につけましょう。
・保育所交流など子どもとの触れ合いを通して保育士として必要な能力を育てましょう。
・体験したことをグループで発表し合い、課題を解決し、改善できる力をつけましょう。

２　学習の到達目標

子どもの発達や生活の特徴について理解し、それに係る技術を身につけ、子どもを取り巻く課題を設定し解決する力を養い、将来保育を担う職業人として必要な資質・能力を身につける。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	保育の意義や方法、子どもの発達や生活の特徴及び子どもの福祉と文化について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につけるようにする。	子どもを取り巻く課題を発見し、保育を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	子どもの健やかに発達を目指して自ら学び、保育に主体的たつ協働的に取り組む態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	子どもの保育	保育の意義 保育の方法 保育の環境	a:保育の重要性、保育環境の特徴について理解している。 b:様々な保育の場において課題を設定し、解決策を構築する。 c:解決策をグループで話し合い、課題を解決しようと工夫している。	ワークシート 定期考査	ワークシート 話し合い 定期考査	行動観察 振り返り
	子どもの発達の特性	子どもの発達の特性 乳児期の発達 幼児期の発達	a:子どもの発達の特性を身体発育・運動機能・人間関係など様々な側面から理解している。愛着行動の受容性について理解している。 b:子どもの発達において個人差や愛着行動について課題を設定し、解決策を構築している。 c:課題解決に向けてグループで話し合って考えの視野を広げ、改善する工夫をしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 話し合い 定期考査	行動観察 振り返り
二学期	子どもの生活と養護	保育所実習 子どもの生活と養護 生活習慣の形成 健康管理と事故防止	a:食生活や基本的生活習慣・応急処置などについて理解し技術を身につけている b:保育所実習を体験して生活習慣の身につけ方について課題を設定し、解決策を構築している。 c:保育所実習で発見した課題についてグループで話し合い、発表し、よりよい改善策を考えようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 話し合い 定期考査	行動観察 振り返り

※令和４年度以降入学生用

	子どもの文化	子どもの文化の意義と支える場 子どもの遊びと表現活動	a:子どもの遊びや表現活動の意義を理解し、児童文化財の製作できる技術を身につけている。 b:手袋シアターの製作や実演に向けて課題を発見し、改善策を構築し、実践できる。 C:手袋シアターの発表会を行い、実演したり他の生徒の実演を観てよりよい実演方法を考え工夫している。	ワークシート 定期考査	ワークシート 話し合い 定期考査	行動観察 振り返り
三学期	子どもの文化	子どもの文化の意義と支える場 子どもの遊びと表現活動	a:子どもの遊びや表現活動の意義を理解し、児童文化財の製作できる技術を身につけている。 b:手袋シアターの製作や実演に向けて課題を発見し、改善策を構築し、実践できる。 C:手袋シアターの発表会を行い、実演したり他の生徒の実演を観てよりよい実演方法を考え工夫している。	ワークシート 定期考査	ワークシート 話し合い 定期考査	行動観察 振り返り
	子どもの福祉	子どもの福祉 子育て支援	ａ:児童福祉法などの法規や児童虐待の現状について理解している。 ｂ:児童虐待など子どもを取り巻く問題について解決策を構築している。 ｃ:解決策をグループで発表し合い、よりよい改善方法を考えようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 話し合い 定期考査	行動観察 振り返り

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度